

平成 31 年度 「現代文B」(2 学年) シラバス

「新編現代文B」 I 部	単位数	2 単位	学科・学年・学級	全科・2 学年
--------------	-----	------	----------	---------

1 学習の到達目標など

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「新編現代文B」(現 B321)
副教材	「新編現代文B学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / その他, 指導用 DVD-ROM 収載の補助資料など

3 評価の観点, 及び内容, 方法

評価の観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の内容	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) ・記述の確認(ノート, プリント, ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート, プリント, ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述の確認(ノート, プリント, ワークシート, レポート・感想文などの作成した文章) ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認(ノート, プリント, ワークシート) ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察(学習活動における発言内容) ・記述の確認(ノート, プリント, ワークシート) ・定期考査

4 学習計画、及び評価規準など

※「主な評価規準の具体例」の欄に示した「学習指導要領の指導事項（主として該当するもの）」については、学習指導要領の指導事項と対応する記号（ア、イ、ウ、エ、オ）を略記した。

※「関心・意欲・態度」の観点については、各能力（または「知識・理解」）の評価規準に示した内容に、取り組もうとしているということを評価規準とする。

※「備考」欄には、以下の内容が入る。

- 1 学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連／2 図書館やICTの活用など／3 副教材の使用など

学期	月	単元 番号	単元名 単元目標	教材名	学習内容 【言語】-単元で取り上げる言語活動	主な評価規準の具体例	備考
						[話]-話す・聞く/[書]-書く/[読]-読む/[知]-知識・理解 〈評価方法〉 学習指導要領の指導事項(主として該当するもの)	
1	4	1	オリエンテー ション	自分への手紙	<ul style="list-style-type: none"> 現代文の目標や履修等のしくみを理解する。 一年後の自分に手紙を書き、決意を再確認する。 	[書] 進級した気持ちや目標を手紙文として書いている。〈記述の確認〉 -ア	
		5	1 随想 ▼随想を読んで、筆者の考え方や感じ方を的確に読み取る。 ▼個性的な表現を味わい、随想の魅力を知らう。	こそそめスープ	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の思いの変化に注意しながら、本文を通読する。(手引き1) 第一段での筆者の「こそそめスープ」への思いを理解する。(手引き2) 「こそそめスープのある世界」は、筆者にとってどのようなものであるかを理解する。(手引き3 4) 筆者の考える「自分の作り上げた異世界」について理解する。(手引き5) 第三段から筆者の人間に対する考え方を読み取り、まとめる。(手引き6) 筆者と同じような勘違いをしていたことがないかを考えて書き出す。(表現と言語活動1) 	<p>[読]筆者の心情を考えながら文章の大意をつかんでいる。〈記述の確認〉 -イ</p> <p>[読]第一段の筆者の「こそそめスープ」への思いを理解している。〈記述の確認/定期考査〉 -イ</p> <p>[読]「こそそめスープのある世界」は、筆者にとってどのようなものであるかを理解している。〈記述の確認/定期考査〉 -イ オ</p> <p>[読]筆者の考える「自分の作り上げた異世界」について理解している。〈記述の確認〉 -イ</p> <p>[書・関]筆者と同じような勘違いをしていたことがないかを考え、書き出している。〈行動の観察/記述の確認〉 -イ オ</p>	

5	6	<p>2小説1</p> <p>▼情景や心理描写に注意しながら小説を読んで、描かれた世界を的確に捉えよう。</p> <p>▼小説に描かれたさまざまな愛や葛藤の姿から、心の触れ合いについて考えよう。</p>	<p>ナイン</p> <p>◆小説の楽しみ ①...ストーリーの「語られ方」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この小説に登場する人物の過去と現在の状況を踏まえながら、その関係を図にしてまとめ、登場人物の人間関係を理解する。(手引き1) ・小説における比喩的な表現の工夫を理解する。(手引き2) ・英夫の父を怒らせた正太郎の行動を理解する。(手引き3) ・「正ちゃんは一見、悪のように見えるけど、やはり僕らのキャプテンなんですよ」と英夫が言う理由を考え、正太郎の行動がもたらした結果が感謝につながることを理解する。(手引き4) ・「自分たちは日陰なぞありえないところに、ちゃんと日陰をつくったんだぞ」の意味を読み取り、ここに込められた作者の思い、言外に言わんとすることを理解する。(手引き5) ・情景の大きな変化を描くことが、もう戻れない時間の経過と登場人物の大きな変化を描くことにつながっていることを理解する。 <p>【言語】 発信する方法に適したこの小説の特徴を言い表す表現を考え、内容伝達の方法を理解する。</p>	<p>【話】 小説の内容とおもしろさを的確にまとめ、効果的な方法で発信している。<行動の観察> —ア</p> <p>【書】 物語の進行を通してこの小説のおもしろさを読み取り、それを人に発信する方法を理解して、紹介文を書いている。<記述の確認> —エ</p> <p>【読】 悪いことをしている現在の正太郎をみんながかばう理由を理解していると同時に、最後の英夫の発言を通じて伝えたかった、作者の意図を理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査> —ウ</p> <p>【知】 語句の意味や用法を的確に理解している。また、小説における比喩を使った象徴的な表現も理解している。<行動の観察/定期考査> —ア</p>	<p>「新総合図説国語」を利用して、作者のことを調べる。</p>
---	---	--	--	---	---	----------------------------------

6	6	<p>3 評論 1</p> <p>▼評論を読んで、文章の構成、展開、要旨などを的確に捉えよう。</p> <p>▼思考のあり方に関する文章を手がかりに、さまざまな問題について自分の力で考える態度を養おう。</p>	<p>「ふしぎ」ということ</p> <p>◆考える楽しみ ①...「ふしぎ」に驚く心</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容の上から本文を3つの部分に分けて整理し、内容を理解する。(手引き1) ・具体例を用いた論証の仕方を理解する。(手引き2) ・「物語」と、この文章のテーマである「ふしぎ」との関係を理解する。(手引き3) ・筆者の言う「現象の説明」と「人間の内的世界」、「自分と世界との関わり」の関係を理解する。(手引き4) ・自然科学万能の時代における筆者の批判的考え方を理解する。(手引き5) <p>【言語】論理的文章における筆者の主張を的確に理解する。そして、それに対する自分の考察を深めて意見をまとめ、文章で表現する。</p>	<p>【話】筆者の考えや主張に対する自分の考えを発信している。〈行動の観察〉 —ア</p> <p>【書】筆者の主張、意見に対する自分の意見を的確にまとめて意見文を書いている。〈記述の確認〉 —エ</p> <p>【読】論理の展開を正確に読み取り、筆者の主張や意見を理解している。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉 —イ</p> <p>【知】評論における難解な語句の意味や用法を的確に理解している。〈行動の観察／定期考査〉 —オ</p>	<p>「新総合図説国語」を利用して、筆者のことを調べる。また、評論文重要語・現代用語なども調べ、語彙の範囲を広げる。</p>
7	3 2	<p>言語活動</p>	<p>意見文を書く</p> <p>読書と人生 読書案内</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を論理的な文章としてまとめる。 ・良書の案内を受け、好きな本について他者と紹介しあい、様々な図書に触れる。 	<p>【書】自分の主張、テーマに対する自分の意見を的確にまとめて意見文を書いている。〈記述の確認〉 —イ</p> <p>【話】自分の好きな図書や紹介された図書についての感想を発信している。〈行動の観察〉—エ</p> <p>【書】自分の主張、テーマに対する自分の意見を的確にまとめて意見文を書いている。〈記述の確認〉 —エ</p>	

2	9	4	4 詩歌 ▼詩歌を読んで、それぞれリズムや表現の特色を味わおう。 ▼それぞれの作品に託されたイメージを通じて、作者の心情を考えよう。	一つのメルヘン	<ul style="list-style-type: none"> ・ソネット形式 (14 行詩), 各連の最後の行が持つ音韻の響きを理解する。(手引き 1) ・幻想的な情景を理解する。(手引き 2) ・「さらさら」という擬態語の使い方と効果を理解する。(手引き 3) ・この詩を読んだ感想をまとめて, 的確に発表することを理解する。 ・中原中也の近代詩における位置, 独特なリズム, 擬態語の活用を, 中也の他の詩を読むことで理解する。 	【話】 作者の思いに対する自分の考えを発信している。<行動の観察> —ア 【読】 情景やその展開を正確に理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査> —イ・ウ 【知】 中原中也の詩における修辞技巧や言葉の使い方を的確に理解している。<行動の観察/定期考査> —イ	「新総合図説国語」を利用して、作者のことを調べる。
		4		I was born	<ul style="list-style-type: none"> ・「I was born」において散文詩的響きの持つ効果を理解する。(手引き 1) ・「—やっぱり I was born なんだね—」に込められた作者の主張を理解する。(手引き 2) ・蜚蜉の話をした父の気持ちを理解する。(手引き 3) ・父の蜚蜉についての話を聞いた後の「僕」の気持ちを理解する。(手引き 4) 	【読】 父と僕の会話から作者の思いを理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査> —イ 【知】 散文詩という独特な詩の形式を理解している。<行動の観察/定期考査> —オ	

1 0	8	<p>5小説2</p> <p>▼寓話的な話のおもしろさを味わい、その主題と構想とを理解しよう。</p> <p>▼小説を読む楽しさに気づき、日々の生活の中で読書する習慣を身につけよう。</p>	<p>山椒魚</p> <p>◆小説の楽しみ</p> <p>②...小説は誰のものか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公の山椒魚が置かれた状況を理解すると同時に、場面展開を理解する。(手引き1, 3) ・「山椒魚は悲しんだ。」という冒頭の一文の意味と読者に与える効果を理解する。(手引き2) ・山椒魚の心理変化を、順を追ってまとめて理解する。(手引き4, 5) ・「今でもべつにおまえのことを怒ってはいないんだ。」に込められた作者の思いを読み取る。(手引き5) ・自分が山椒魚の立場だったらどうかを考えながら、作者がこの小説に込めた思いを理解し、それに関する自分の意見をまとめて表現する。(手引き6) ・「ああ、寒いほど独りぼっちだ！」や「二個の鮎物は、再び二個の生物に変化した。」のような表現の工夫を理解する。 <p>【言語】 情景描写や心理描写における作者の表現方法に着目し、その効果を理解する。</p>	<p>【話】 山椒魚が閉じ込められた場所の情景描写と、他の動物との会話で示される山椒魚の心理描写を的確にまとめて、正確に発信している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">—ア</p> <p>【書】 この小説から読み取ったことをもとにして、自分の考えを文章にまとめることができている。<記述の確認></p> <p style="text-align: right;">—イ</p> <p>【読】 山椒魚の置かれた状況と心理状態を的確に理解している。<行動の観察/記述の確認/定期考査></p> <p style="text-align: right;">—イ・ウ</p> <p>【知】 語句の意味や用法を的確に理解している。また、小説における比喩や象徴的な表現も理解している。<行動の観察/定期考査></p> <p style="text-align: right;">—イ・ウ</p>	<p>「新総合図説国語」を利用して、作者と作者に関係のある作家を調べる。</p>
--------	---	--	---	--	---	--

1 1	8	6 評論 2 ▼評論を読んで、そこに提示された問題を正確に把握し、理解しよう。 ▼人間にとっての言葉の重要性について考えを深め、言語生活を豊かにしよう。	言葉と世界 ◆考える楽しみ ②...言葉なんて いない？	・当たり前のように使っている「言葉」の存在に関心を持つ。(手引き1, 2) ・言葉がわれわれを取り巻く世界をカテゴリー化する意味を理解する。(手引き3) ・われわれの世界の位置関係が言葉によってどのように決定されているかを理解する。(手引き4) ・「言葉」に対する筆者の考えを理解する。(手引き5) 【言語】自分の考えを人に納得させるために必要な論理的な発信の方法を理解する。	【話】筆者の考えに対する自分の考えを正確に発信している。＜行動の観察＞ —ア 【読】論理の展開を正確に読み取り、筆者の言葉に関する考えの体系化を理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞ —イ 【知】「カテゴリー」、「相対化」という抽象的な概念を示す語句を理解している。＜行動の観察／定期考査＞ —イ・ウ	「新総合図説国語」を利用して、評論文重要語・現代用語なども調べ、語彙の範囲を広げる。
1 2	5	7 短歌	信濃路	・近代短歌についての概要を知り、それぞれの作品のリズムや内容を味わう。 ・掲載された短歌を鑑賞し、選んだ歌についての感想を書く。 ・自ら短歌を創作し、その楽しさを味わう。	【書】自分の表現したい内容を短歌の形式にして詠んでいる。＜記述の確認＞ —エ 【読】作品に描かれた情景・心情を表現に即して読んでいる。＜記述の確認／定期考査＞ —ウ	

3	1	4	和歌	百人一首	<ul style="list-style-type: none"> ・百人一首の内容や得量を理解し、百人一首のカルタを楽しむ。 	<p>【読】 作品に描かれた情景・心情を表現に即して読んでいる。＜記述の確認／定期考査＞</p> <p>－ウ</p>	
3	1 ～ 3	1 3	<p>8小説3</p> <p>▼優れた小説が、構成や表現の面でどのように工夫されているかを理解しよう。</p> <p>▼小説を読むことをとおして、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深めよう。</p>	山月記	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公李徴の発言によって、小説が構成されていることを理解する。(手引き1, 2) ・前半部で語られる李徴の状況と人間像を理解する。また、虎に変身する過程とその時の李徴の心理変化を理解する。(手引き3, 4) ・李徴が袁愔に依頼したことを理解する。(手引き5) ・李徴自身の気がついた、虎に変身しなければならなかった理由を理解する。(手引き6) ・作者がこの小説で語りたかったことを理解する。(手引き6) <p>【言語】 李徴の生き方についての意見を文章にまとめて、お互いに発表する。</p>	<p>【話】 李徴の生き方についての意見を的確にまとめて、正確に発信している。＜行動の観察／定期考査＞</p> <p>－ア</p> <p>【書】 李徴の生き方についての意見を文章にまとめることができている。＜記述の確認＞</p> <p>－ア</p> <p>【読】 前半部の李徴の状況と心理状態、虎になって袁愔に語る自己分析と心理を的確に理解している。＜行動の観察／記述の確認／定期考査＞</p> <p>－イ・ウ</p> <p>【知】 前半部に集中している漢語の意味を的確に理解している。また、小説における比喻や象徴的な表現も理解している。＜行動の観察／定期考査＞</p> <p>－オ</p>	「新総合図説国語」を利用して、作者のことを調べる。
		1	一年を振り返って	自分への手紙 反省文	<p>年度初めの目標が達成されたかを振り返り、一年間を振り返り学習への取り組みを考える。</p>	<p>【書】 自分の成長や反省点をまとめることができている。＜記述の確認＞</p> <p>－オ</p>	